

# 大蔵村役場新庁舎整備基本設計・実施設計業務委託公募型プロポーザル審査要領

令和5年12月19日

要領第2号

## 1 目的

本要領は、大蔵村役場新庁舎整備基本設計・実施設計業務委託公募型プロポーザル実施要綱において規定する最優秀者、優秀者の各1者の選定を実施する上で、必要な審査方法、評価項目を定めるものである。

## 2 審査方法等

審査については二段階審査とし、以下のとおりとする。

### (1) 事務局審査（書類審査）

大蔵村役場新庁舎整備基本設計・実施設計業務委託公募型プロポーザル実施要領（以下「実施要領」という。）に基づき提案された提案書（様式3-1）をもとに、事務局により客観的に審査、評点を行う。

### (2) 審査委員審査

実施要領に基づき提案された提案書（様式3-2、3-3）をもとに、審査委員によりヒアリングを実施し主観的に審査する。評点は各審査委員による評価点の平均値とする。

### (3) 事務局及び審査委員審査評価項目等

評価点は別紙プロポーザル評価基準書のとおりとし、事務局審査及び審査委員審査の評点を合計する。

ヒアリングについては、提案内容の理解を深めるとともに、提案者の説明能力や質疑応答能力を含めた総合的な力量を審査する。最優秀者・優秀者の決定は、すべての提案者のヒアリングを終了した後に、委員間でヒアリングの内容を含めて各提案についての意見交換を行い、ふさわしい者を選定理由を付して決定する。

## 3 この要領は、公布の日から施行する。

大蔵村役場新庁舎整備基本設計・実施設計業務公募型プロポーザル評価表

①【事務局審査】

提案書（3-1）により別紙評価基準により客観的に評価する。

審査項目				着目点	配点計	配点	評価	ウェイト	評価点	
事務局審査 (提案書審査)	業務実績・遂行能力	担当者の能力	資格内容	総合担当	資格の内容を評価する	5	2			
			構造担当	資格の内容を評価する	1					
			電気担当	資格の内容を評価する	1					
			機械担当	資格の内容を評価する	1					
		業務実績	管理技術者	同種施設等の実績を評価する	10	3				
			総合担当	同種施設等の実績を評価する		3				
			構造担当	同種施設等の実績を評価する		2				
			電気担当	同種施設等の実績を評価する		1				
	事務所の 実績	山形県発注成績評価	実績件数	5	3					
			平均点（記載された件数）		2					
	小計 ①					20	20			

大蔵村役場新庁舎整備基本設計・実施設計業務公募型プロポーザル評価表

②【審査員評価】

提案書（3-2, 3-3）に対する、理解度・取組意欲・質問に対する応答性を総合的に評価する。

審査項目		着目点	配点計	配点	評価	ウェイト	評価点	
審査員審査（ヒアリング）	実施方針等  (実施方針・担当チーム) 取組体制	業務内容の理解度	14	5				
		担当チームの特徴		5				
		特に留意する事項		2				
		その他配慮事項		2				
	業務内容を理解し、担当チームが連携されていることが感じらるか評価する							
	提案課題内容	課題1	条件に対する的確性	22	5			
			条件に対する実現性		9			
			条件に対する独創性		7			
			質問に対する応答性		1			
		課題2	条件に対する的確性	22	5			
			条件に対する実現性		9			
			条件に対する独創性		7			
			質問に対する応答性		1			
		課題3	条件に対する的確性	22	5			
			条件に対する実現性		9			
			条件に対する独創性		7			
質問に対する応答性			1					
的確性(キーワードの網羅等)・実現性(条件の整合性、説得力等)。 独創性(前例のない提案工夫等)等を総合的に評価する。								
小計②			80	80				
合計(①+②)			100	100				

大蔵村役場新庁舎整備基本設計・実施設計業務公募型プロポーザル評価基準表

各配点に対し下記の基準ウェイトで計算する。

【事務局審査】

提案書により客観的に評価する。

担当者資格内容評価基準			
分野	資格	ウェイト	評価
総合	一級建築士	1.0	A
	二級建築士	0.4	B
	その他	0.2	C
構造	構造設計一級建築士・一級建築士	1.0	A
	二級建築士	0.4	B
	その他	0.2	C
電気	設備設計一級建築士・建築設備士 ・一級建築士	1.0	A
	一級電気工事施工管理技士	0.4	B
	二級電気工事施工管理技士・その他	0.2	C
機械	設備設計一級建築士・建築設備士 ・一級建築士	1.0	A
	一級管工事施工管理技士	0.4	B
	二級管工事施工管理技士・その他	0.2	C

担当者業務実績評価基準			
区分	評価実績	ウェイト	評価
同種	同種実績が3件以上ある	1.0	A
類似	類似実績がある	0.3	B
その他	実績なし	0.0	C

県発注業務成績評価基準			
区分	基準	ウェイト	評価
実績件数	5件～	1.0	A
	2件～4件	0.4	B
	1件	0.2	C
平均点数	80点～	1.0	A
	70点～79点	0.4	B
	～69点	0.2	C

【審査員評価】

A～Eの5段階評価とする。

提案書内容・ヒアリングにより主観的に評価する。

評価	基準	ウェイト
A	大変良い	1.0
B	良い	0.8
C	普通	0.6
D	悪い	0.4
E	評価できない	0.0

実施方針等			
区分	基準	配点	計
取組体制	業務内容の理解度	5	14
	担当チームの特徴	5	
	特に留意する事項	2	
	その他配慮事項	2	

提案課題			
区分	基準	配点	計
課題1	条件に対する的確性	5	22
	条件に対する実現性	9	
	条件に対する独創性	7	
	質問に対する応答性	1	
課題2	条件に対する的確性	5	22
	条件に対する実現性	9	
	条件に対する独創性	7	
	質問に対する応答性	1	
課題3	条件に対する的確性	5	22
	条件に対する実現性	9	
	条件に対する独創性	7	
	質問に対する応答性	1	